

# 11月9日 聞く

大成ロテックは、長時間労働の是正と週休2日制をさらに推進すべく、「働き方改革実行計画(案)」を策定した。同社の西田義則社長は「今やらなければ、産業の行く末に関わる」と危機感を露わにするとともに、「課題は多いが、次の担い手の確保へ向け全力で取り組む」と強く語る。建設業への時間外労働の上限規制が見込まれている24年4月の3年前倒しとなる21年度に、工事部門の年間時間外労働時間数7

## 働き方改革実行計画策定

20時間以下の達成などを目指す。働き方改革の実現に向け意気込みを話す西田社長に今後のかじ取りを聞いた。

長時間労働の是正に向け、自主目標として工事部門では「24年の3年前倒しとなる21年度には、年間の時間外労働時間数720時間以下の達成を目指す」とする。合材部門に関しても、「19年4月に改正法が施行された場合、即時に年間の時間外労働時間数720時間の上限規制が適用され

### 大成ロテック社長 西田 義則 氏



週8休を達成する計画」の展開を図るほか、工事として「担い手は労働環境などを他産業と比較し、入社してくる」と話す西田社長は、「担い手を確保するため、まずは労働環境を整えることが重要」と呼びかける。

計画の目標達成に向け、た具体策に関しては、社員の意識改革やICT(情報通信技術)の活用も進める。効率的な現場管理を実現すべく、カメラとTVモニターを活用した現場の監督・監視システムを構築し、全社へ

の展開を図るほか、工事測量ガイダンスシステムの「側構ナビ3D」をはじめとする生産効率の高技術の水平展開も進め、協力会社に対する処遇改善も課題の一つとして掲げ、「職長に対するマイスター制度の強化・推進や協力会社への教育の充実化もモチベーションの向上につながる」と、結果的には現場の生産性UPにつながる」と専門工事業者を取り巻く環境の改善にもこれまで以上に注力していく考えだ。

る」ことを踏まえ、「労働時間の管理をさらに厳格化しなければいけない」とし、担い手の確保にはまず労働環境の改善を優先して取り組む姿勢を示す。

週休2日制の推進に関

も増やし、23年度には4

に閉所する土曜日の日数

## 長時間労働是正、週休2日実現を加速